

事業継続計画（BCP）シート

策定者	一般社団法人 大阪代協 事務局	策定日
		2021年6月25日

*1	① 避難場所	①西天満小学校（運動場） ②西梅田公園
	② 避難ルール	事務局が入居する建物は堅牢かつ高層階であるため就業中に被災した場合、原則は事務局に留まる
	③ 避難基準	事務局での滞在が困難な場合、津波リスクが無く、往來の安全が確保できることを確認の上非難する

- ★保険代理店の使命 ①全てのお客さまに地震リスクをカバーする保険を必ずご案内する ②災害発生時に被災契約者対応を第一に考え行動する

I 基本項目

1. BCPの発動（想定災害）

① 脅威	地震（津波）
② 災害規模	震度6以上

2. 基本方針（BCP発動時の心構え）

① <安全>	人命（従業員・会員）の安全を守る
② <信頼>	事務局の運営を維持し、会員への情報提供を継続する
③ <雇用>	従業員の雇用を守る
④ <地域>	損保協会・保険会社と連携し、速やかな保険金支払いに貢献する

3. BCP発動時の役割体制

項目	責任者	代行
① 初動対応（安否確認、被害確認）	吹原	高木
② 会員対応〔災害対応〕	吹原	高木
③ インフラ復旧、代替手段の確保	諏訪	吹原
④ 会員対応〔通常業務〕	高木	吹原

4. 重要業務の対応

業務分類	具体的業務	重要度	目標復旧期間
① 事務局被害状況確認業務復旧	コミュニケーション手段の確保	大	翌日
	BCPに資する情報の提供 各会員の被災状況の把握		
② 会員被害範囲確認業務内容調整	被災会員の運営状況をレベル分けで把握する 必要に応じた災害お見舞い 当面の業務の取捨選択 代理店被災対応に関する情報提供	中	1週間
	会計業務 会員情報のアップデート 委員会・理事会等の運営 セミナー等教育事業再開		
③ 通常業務完全復旧		小	1カ月

II 平時の備え

項目	目的	時期	担当者
----	----	----	-----

1. ヒト

① 会員の啓発活動	BCP策定	通年	吹原
② 業務代替性の確保	業務分類化・標準業務フロー	通年	吹原・高木
③ BCP研修	事務局員の覚悟・心構え	年1回	吹原
④ 防災訓練	災害発生時の対応理解・確認	年1回	吹原・高木
⑤ 安否確認訓練	手段の周知・確認・徹底	年1回	吹原・高木
⑥ 災害時の基礎知識の理解	地震保険、共済、各種復興支援	年1回	吹原・高木
⑦ BCPの見直し	役割の変更、初動ルールの変更	年1回	吹原・高木

2. モノ

① 代替施設の検討	ライフライン、通信インフラが不能の場合	未済	諏訪
② 機械什器の転倒・落下防止	地震発生直後の社員の安全確保	済	—
③ 通信手段の確保	テレワーク環境の整備	済	—
④ ノート型PC、携帯端末の保護	夜間、休日の災害発生対策	済	—
⑤ 非常用照明、バッテリー	夜間停電対策	未済	吹原
⑥ 備蓄品の準備	水・食料・簡易トイレ	未済	吹原

3. カネ

① キャッシュフローの試算	収入減と支出増による不足額	不要	—
---------------	---------------	----	---

4. 情報

① 重要データのクラウド保管	突発的な被害に備える	済	—
----------------	------------	---	---

III 対応手順

1. 発生直後

事務所内	
① 安全確保	声かけ、天井ガラスの落下注意、ロッカー・什器の転倒注意
② ケガ人の確認	大声で呼びかけ
③ 救出・救護	下敷きになった人を救出、110番、119番等へ救助要請
④ 消火	消火器で初期消火、火が拡大した時は退避
⑤ お客さま対応	来店中のお客さまを安全な場所へ誘導
⑥ 情報収集	余震、津波情報等の収集
⑦ 重要書類・備品保護	会員から預かった書類、会社の備品等を保護
⑧ 避難*1	避難経路に従い安全な場所へ避難、点呼して人数確認
⑨ 安否報告*2	外出者や休暇中の従業員の安否確認

外出中	
① 安全確保	まずは最寄りの安全な場所へ退避、近所の場合は安全を確保しつつ事務局に戻る
② 安否報告*2	会社（責任者）へ安否状況を報告

夜間・休日	
① 安全確保	屋内では家財等の転倒に注意、初期消火
② 家族対応	家族の安全の確保、避難誘導
③ 安否報告*2	会社（責任者）へ安否状況を報告、災害用伝言ダイヤル(171)

*2 安否報告	
① 報告基準	地震 震度6以上（水災 避難レベル4以上）
② 報告手段	LINE・Gogle利用、吹原がとりまとめ執行部LINEに共有する
③ 報告内容	本人、家族のケガの有無、自宅被害、就業の可否、所在地

従業員の安全確保・二次災害		担当者
① 帰宅困難者	安全が確認されるまで会社待機	吹原
② 出社困難者	出社困難者は自宅待機かテレワーク	吹原
③ 二次災害対策	周辺地域の留意すべき箇所	吹原
	I 周辺ビルのガラス破片	
	II 地下通路の状態（照明、水没等）	
	III 淀川の橋の状態（通行可か）	

2. 初動対応（災害発生から48時間以内）

緊急時体制の確立		担当者
① BCP体制への移行	BCPの発動を宣言、各自の役割を確認	会長
② 労働環境の確保	安全に就業できるスペースを確保	諏訪

被害状況確認		担当者
① 施設・設備確認	建物、電気設備、EV、給排水設備等	吹原・高木
② 備蓄品の確認	※「事前準備」の欄参照	吹原・高木
③ IT確認	通信環境、PC等の起動	吹原・高木
④ 社会インフラ・保険会社確認	電力、ガス、水道、交通機関の運行状況	吹原
⑤ 3拠点内各代協の状況	施設、社員安否、通信状況、日本代協と共有	吹原
⑥ 重要情報等の確認	会員情報	吹原
⑦ 理事・役員・大規模会員	安否状況、被災状況	吹原

地域貢献活動		担当者
① 場所の提供	避難場所の提供、帰宅困難者の受入	吹原
② 物資の提供	飲料水、食糧、電話、車両等の提供	吹原
③ 労務の提供	救助活動、災害廃棄物撤去、炊き出し	吹原・高木

3. 業務再開に向けて

重要業務に係るインフラの復旧、代替手段確保				
経営資源項目		検討の観点	担当者	
① ヒト	就業不能社員	フォロー役割分担方法検討	吹原	
	② モノ	事務所、設備・什器	代替施設の検討、破損設備修理手配	諏訪
		通信手段の確保	モバイル通信の活用	吹原
		ノート型PC、携帯端末の手配	滅失、破損の場合	吹原
	電池、バッテリー、ガスボンベ、水	非常用電源装置使用、備蓄品の利用	吹原	
	代替施設（自宅等）の環境整備	PCの配置等	吹原・高木	
③ カネ	キャッシュフローの確保	各種災害融資の検討	諏訪・吹原	
④ 情報	バックアップデータの復元	大塚商会・PCLiFEと打合せ	吹原	

復旧状況の最終確認		
重要業務	復旧の目安	確認者
① 事務局被害状況確認業務復旧	インフラ状況の確認・必要に応じた代替策の稼働	吹原・高木
	通信環境が確保できている	吹原・高木
② 会員被害範囲確認業務内容調整	各会員へのメール配信手段が確保できている	吹原・高木
	被災会員の運営状況をレベル分けで把握する	吹原
③ 通常業務完全復旧	必要に応じた災害お見舞い	吹原
	当面の業務の取捨選択、必要な情報提供	吹原
	被災以前の状態に戻っている	吹原

4. 重要業務の再開

情報提供手段の確保	<再開日> 災害発生から〔 翌日 〕以内	担当者
① お見舞い・業務再開のお知らせ	（店頭、HP、避難所掲示板に告示）	吹原

被害状況把握	<再開日> 災害発生から〔 1週間 〕以内	担当者
① 被災会員の運営状況をレベル分けで把握する		吹原
② 必要に応じた災害お見舞い（代協内協力体制の構築）		吹原
③ 当面の業務の取捨選択（会議関連の中止等）		吹原
④ 代理店被災対応に関する情報提供		吹原

通常業務	<再開日> 災害発生から〔 1カ月 〕以内	担当者
① 会員情報のメンテナンス		高木
② 各種会議体の開始		吹原

IV その他 参考資料

1. 周辺知識（参考）

① 資金手当（日本政策投資銀行、小規模企業共済等）
② 国、地方行政の復興支援策（補助金）
③ 代協、損保協会の災害対策、支援策
④ 臨時労働の労基署届出・許可（36協定の特別条項）

2. 備蓄品リスト

備蓄品	担当者
① 飲料水（従業員数×2L×3日）	吹原
② 非常食（従業員数×3食×3日）、生活用品（カセットコンロ）	吹原
③ ヘルメット（従業員数分）	吹原
④ 懐中電灯（2本以上、予備電池・充電器を含む）、AMラジオ（乾電池仕様）	吹原
⑤ 非常用電源装置	吹原
⑥ 消火器	吹原
⑦ 予備燃料（カセットボンベ）	吹原
⑧ 救急医療品、衛生用品（簡易トイレ）、衣類、毛布	高木